

**SK SATO**

# 防水型デジタル温度計

SK-250WP II シリーズ

SK-250WP II -T

SK-250WP II -R

取扱説明書

SATO KEIRYOKI MFG.CO.,LTD.



## —はじめに—

このたびは防水型デジタル温度計「SK-250 WPⅡシリーズ」をお買いあげいただきありがとうございます。

- この商品は温度をはかるものです。それ以外のご使用はしないでください。
- ご使用前に必ずこの取扱説明書（本書）をお読みにになり、大切に保存してください。

## 注意事項



## 注 意

本器を正しくご使用していただくために、以下の事を必ず守ってください。

- 体温計としてご使用しないでください。
- 本器は精密にできていますので落下させたり、衝撃を与えないでください。
- 分解、改造しますと故障の原因となりますので絶対にしないでください。
- 水中でのご使用はしないでください。
- 直射日光の当たる場所や熱器具の近くでの使用はしないでください。  
ケースの変形や故障の原因となります。
- 電氣的ノイズが発生する環境（電磁誘導加熱（IH）調理器付近等）でご使用しますと、表示が不安定になったり、誤差が大きくなる場合があります。
- 測定範囲外でのご使用は故障の原因となりますので絶対にしないでください。
- センサコードを無理に引っ張ったり、曲げたり、束ねたりしないでください。  
また、重い物をのせたり、加熱するとコードが損傷します。



## 注 意

- センサ先トガリ部は保護管先端がとがっているため、センサ使用後に汚れを拭き取る時など、手・指など誤って刺さないよう取り扱いに注意してください。また、センサを落下させたとき、足などに刺さる恐れがあります。取り扱いには十分注意してください。
  - 長期間使用しない場合は、必ず乾電池を取り外してください。入れたままにしておきますと乾電池から液漏れする場合があります、故障の原因となります。
  - 不要になった乾電池は火中に投入しないでください。
  - 乾電池は幼児の手の届かないところに保管してください。万一飲み込んだ場合には、直ちに医師に相談してください。
  - 環境保全のため使用済み乾電池はそれぞれの市町村の条例に基づいて処理するようにお願いします。
  - 本器をアルコール、シンナー、その他溶剤等で洗ったり、拭いたりしないでください。汚れた場合は、中性洗剤を溶かしたぬるま湯に布を浸し、よくしぼってから拭いてください。
  - ネックストラップのご使用に関しては十分注意してください。移動の際に本体が引っ掛かるなど思わぬ事故の危険性があります。
- ※修理、校正はお買いあげ店または弊社へお申し付けください。

## 概 要

本器はセンサとしてサーミスタを使用した防水型デジタル温度計です。

また、センサプローブ（SWPⅡセンサシリーズ）は各種タイプとも本体と完全互換です。

※注意：SK-250WP用温度センサ（SWPセンサシリーズ）との互換性はありません。

## 特 長

- 本器はJIS C 0920「IPX6」に準拠した防水構造です。  
ぬれた手で触ったり、水がかかっても機能に支障はありません。
- 測定値のホールド（HOLD）ができます。
- 最高（MAX）／最低（MIN）温度が測定できます。
- 60分後に自動的に電源を切ることができます。（オートパワーオフ機能）
- 時計機能とタイマー機能で温度と時間の管理をすることができます。
- 本器は温度上限下限警報機能付きです。あらかじめ設定した温度を超えたか確認したいときなどの温度監視に便利です。警報は音と表示でお知らせします。
- 測定値を本器に記憶（REC）することができます。現場でペンと紙で記録することなくあとからデータを確認することができます。  
（SK-250WPⅡ-R）
- 40～250℃まで測定できます。  
（使用するセンサにより測定範囲は異なります。）



## 警告

SK-250WP II シリーズは防爆仕様構造ではありませんので、引火性ガスを含んだ気体の測定には絶対にご使用しないでください。



**爆発注意**  
爆発する恐れがあり  
大変危険です。

- ご不明な点がありましたらお買いあげ店または弊社にご相談ください。



## 注意

- 本器の防水性はJIS C 0920「IPX6」に準拠しております。  
いかなる方向から直接水を受けても、内部に水が入らない構造のものを意味しています。  
水の中でのご使用はできません。
- 本体ケースを固定しているネジは防水性を保証する指定のトルクにて締め付けていますので、ゆるめたり増締めをしたりしないでください。防水性を損ないます。

# 目次

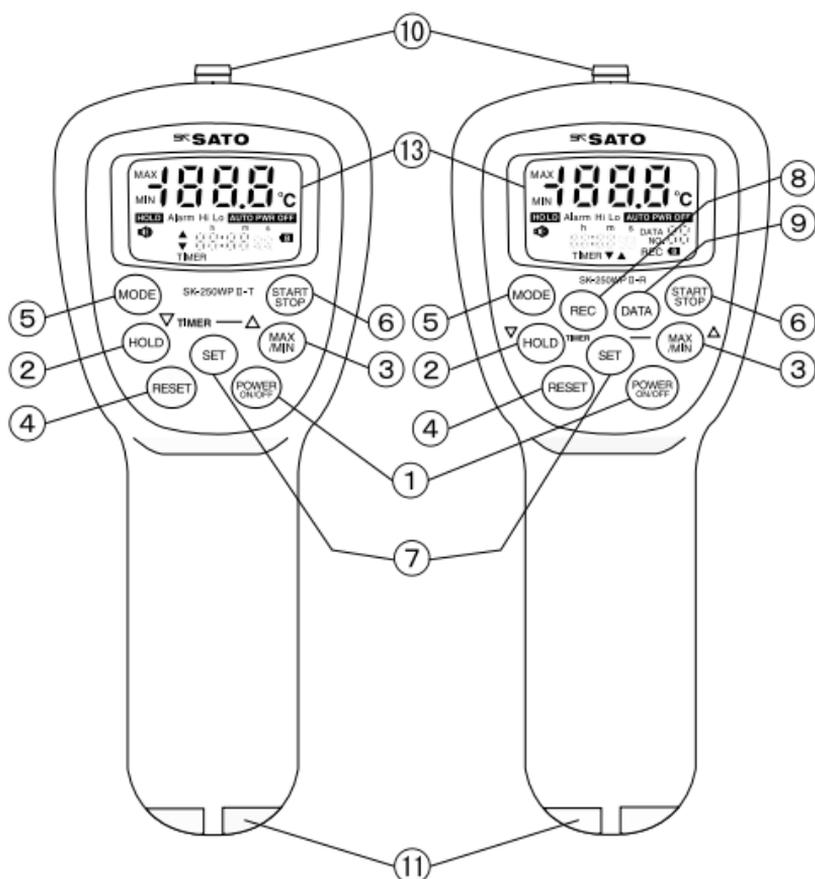
	ページ
●各部の名称	1
●ご使用方法	5
・乾電池のセット	5
・ネックストラップの取り付け方	6
・センサプローブの接続	6
・本体ビニールカバーの取り付け方	7
●温度測定のしかた	7
●バッテリー警告	7
●HOLD機能	8
●MAX/MIN機能	8
●RESET機能	9
●タイマー機能	9
・カウントアップ	9
・カウントダウン	10
●設定モード	11
●時計機能	12
●温度上限下限警報機能	13
・温度上限警報	13
・温度下限警報	14
・警報設定の条件	15
●オートパワーオフ機能	16
●レコード機能(SK-250WP II-R)	16
・データ記憶	16
・データ呼び出し	17
・データクリア	17
●データの保持と消去	18
●設定の初期値(デフォルト)	18
●エラー表示	19
●仕様	20
・SK-250WP II-T	20
・SK-250WP II-R	21
●インターネットホームページ	22
●保証規定	22
●品質保証書	23

# 各部の名称

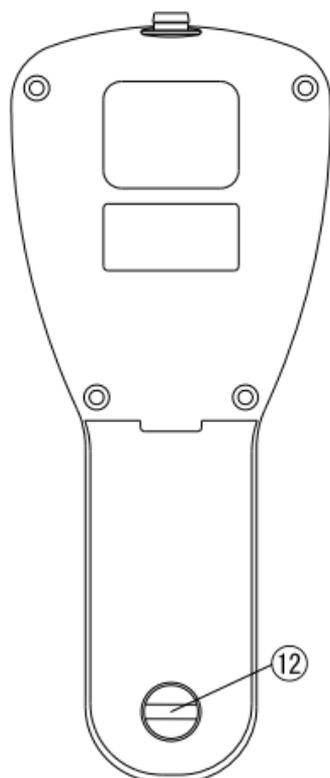
## ■正面

SK-250WP II -T

SK-250WP II -R



## ■背面 (SK-250WP II シリーズ共通)



①POWER ON/OFFキー

キーを押すと本器の電源が入ります。もう一度押すと、本器の電源が切れます。

②HOLDキー (▼)

測定中の表示値が固定されます。もう一度押すと通常の温度測定表示に戻ります。

③MAX/MINキー (▲)

電源ONまたはRESETキーでクリア以降の最高測定値および最低測定値を表示します。

④RESETキー

本器に記憶されている最高測定値(MAX)および最低測定値(MIN)がクリアされます。

⑤MODEキー

設定モードへ移行します。

⑥START/STOPキー

タイマーモードへ移行します。タイマーモード内ではキーを押すたびにカウントの開始/停止をさせます。

⑦SETキー

設定モードで設定を確定します。

⑧RECキー (SK-250WP II -R)

測定しているデータを本器に記憶します。キーを押し続けると2秒間隔でデータを記憶します。

⑨DATAキー (SK-250WP II -R)

本器に記憶したデータを呼び出して表示させます。

※設定モード、タイマーモードでのキー動作

キー名称	動作
HOLDキー(▼)	設定値を減少させます。
MAX/MINキー(▲)	設定値を増加させます。
RESETキー	設定値を初期値(デフォルト)に戻します。
MODEキー (設定モードのみ)	次の設定に移行します。 2秒間押し続けると測定モードへ戻ります。
SETキー (設定モードのみ)	設定値を確定させます。

⑩センサコネクタ

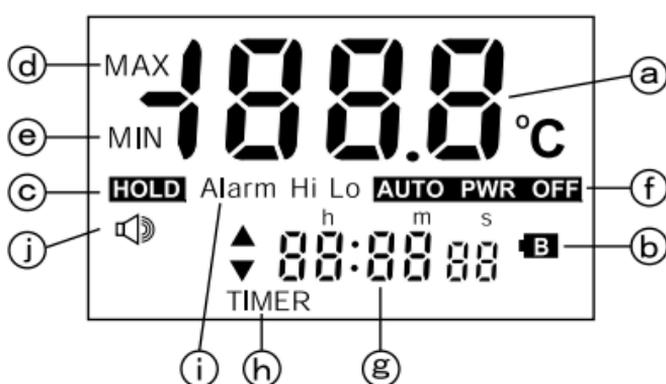
本器専用のセンサプローブ(SWPⅡセンサシリーズ)のコネクタを接続します。

⑪ネックストラップ取付部

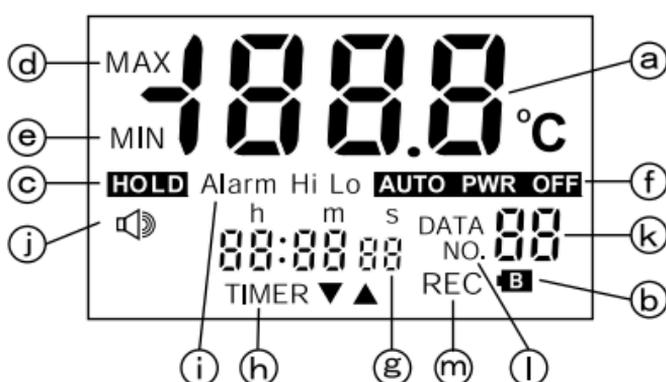
⑫電池カバー固定ネジ

⑬表示部

SK-250WPⅡ-T



SK-250WPⅡ-R



①温度表示部

測定温度値やエラー状態などを表示します。

②ローバッテリーマーク

電池が消耗しますと **B** マークが点滅します。電池を交換してください。

③HOLD

測定値のホールド中に点灯します。

④MAX

最高測定値の表示中に点灯します。

⑤MIN

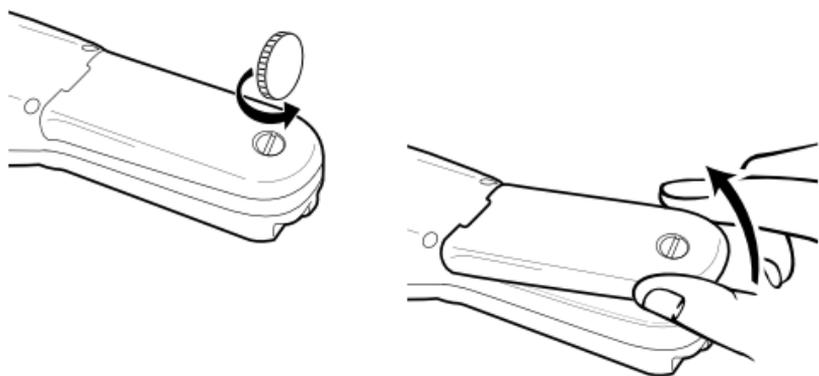
最低測定値の表示中に点灯します。

- ⑥ AUTO PWR OFF  
オートパワーオフを設定したときに点灯します。
- ⑦ 時間表示部  
時間やタイマーカウント値を表示します。
- ⑧ TIMER h m s ▲▼  
タイマー動作中に点灯します。
- ⑨ Alarm Hi Lo  
温度上限下限警報を設定した時に点灯します。
- ⑩ 警報ブザー  
温度上限下限警報値を超えた時に点灯します。
- ⑪ データ番号表示部  
記憶されているデータ番号を表示します。
- ⑫ DATA No  
記憶されているデータ番号を表示するときに点灯します。
- ⑬ REC  
データを記憶した時に点灯します。

## ご使用方法

### ●乾電池のセット

- ①本体裏面の電池カバー固定ネジをマイナスドライバーまたはコイン等で反時計方向に回し、固定ネジをゆるめて電池カバーをはずしてください。



- ②乾電池収納部の表示に従って、単4形乾電池を2本セットしてください。  
※注意：乾電池は2本すべて同じ種類で新しいものに交換してください。
- ③電池カバーを開けたときと逆の手順で電池カバーを閉めて固定してください。

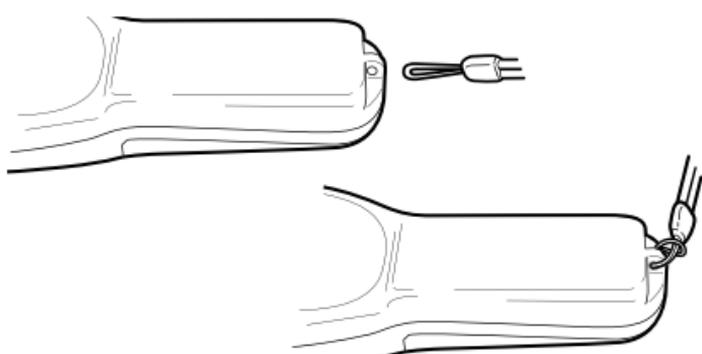


## 注 意

パッキンがきちんと溝にはまった状態で電池カバーをしっかりと取り付けてください。取り付けが不十分ですと防水性が悪くなり水が入るなどして故障、また、水により乾電池がショートし、漏液、発熱、破裂させる恐れがあり大変危険です。濡れた手や水のかかる場所での乾電池交換はしないでください。

## ●ネックストラップの取り付け方

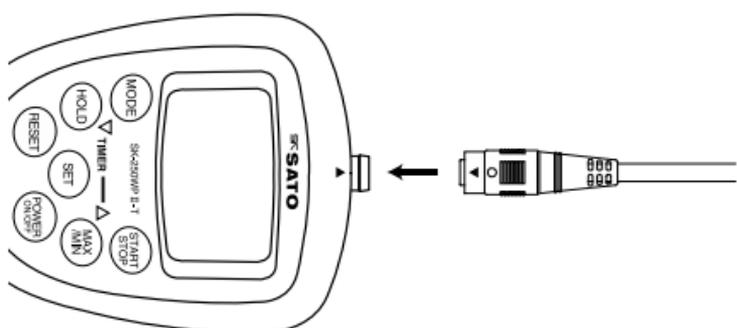
付属のネックストラップを下図の手順で取り付けてください。



- ①ストラップ先端の輪になった細ひもをストラップ取付部の穴に通します。
- ②その細ひもの輪のなかにストラップ本体を通して固定してください。

## ●センサプローブの接続

センサコネクタの「▼」マークを指示計の「▲」マークにあわせてから「カチッ」と手ごたえがあるまで、しっかりと差し込んでください。



※注意：コネクタを無理矢理引っ張ったり回したりしないでください。故障の原因となります。取り外すときはセンサプローブ側コネクタの根元をもって取り付けたときと逆方向に真っ直ぐに抜いてください。決してコードを引っ張ったりコネクタを回しながら抜かないでください。濡れた手や水のかかる場所でセンサコネクタの取り付け、取り外し(着脱)はしないでください。

## ●本体ビニールカバーの取り付け方

汚れから本体を守るためにビニールカバーが付いています。また、落下したときの衝撃をやわらげます。

- ①本体ビニールカバーのくちを広げて本体を収納してください。
- ②カバーを上からかぶせたあと、センサコネクタを接続してください。

## 温度測定のみ

- ①センサプローブを本体に接続してください。

※注意：本体にセンサプローブを接続せずに電源を入れますと「Er」表示がでます。センサプローブを接続すると測定表示になります。

- ②POWER ON/OFFキーを押してください。

表示部に温度測定値が表示され測定状態になります。表示下部に時間が表示されます。

※厳密に温度測定をされる場合

気体・液体・固体を問わず、センサ保護管の先端からおよそ保護管の直径×15倍以上の長さを測定対象物に挿入してください。

(保護管の直径がφ3mmの場合45mm以上です)

これは外気(保護管の周辺)の温度の影響を受けにくくするためです。

- ③再度POWER ON/OFFキーを押すと、表示が消え電源が切れます。

## バッテリー警告

電池が消耗しますとローバッテリーマーク **B** が点滅します。

電池残量が低下した状態でご使用になりますと測定値に誤差を生じます。

速やかに乾電池を交換してください。



## 注 意

高い温度を測定する場合にはやけどにご注意ください。

## HOLD機能

※注意：MAX/MIN機能またはタイマー機能を使用している場合は使用できません。

測定中、温度変化が激しい場合など、HOLDキーを押すことにより表示が固定され測定値の読み取りが容易になります。

表示が固定されているときにはHOLDが点灯します。

もう一度HOLDキーを押すと、通常の測定モードに戻ります。

## MAX/MIN機能

※注意：HOLD機能またはタイマー機能を使用している場合は使用できません。

測定中の温度変化の中で最も高い測定値と最も低い測定値、そのときの時刻を本器が記憶します。

MAX/MINキーを押すごとに表示部に「最高測定値→最低測定値→通常測定値」の順で測定値を表示することができます。最高測定値または最低測定値の表示中はMAXまたはMINが点灯します。

最高測定値および最低測定値は、RESETキーが押されたときまたは電源OFFにしたときにクリアされます。

※何度も同じ最高/最低測定値を測定したときは最初に測定した時間を表示します。

## RESET機能

RESETキーを押すと本器に記憶されている最高測定値、最低測定値および時刻がクリアされます。クリア中は温度単位キャラクタ(°C)が点滅します。

同時に新たに最高・最低測定値の記憶を開始します。

## タイマー機能

※注意：HOLD機能、MAX/MIN機能およびレコード機能を使用している場合は使用できません。また、タイマー動作時は他の機能は使用できません。但し、温度上限下限警報機能は作動します。

- ①測定モードでSTART/STOPキーを押してください。「TIMER」キャラクタが点灯しタイマーデフォルト状態となります。

SK-250WP II -T



SK-250WP II -R



※タイマーデフォルトにてRESETキーを押したときまたは1分間キー操作がないときは測定モードへ戻ります。

### ●カウントアップ (▲)

- ①タイマーデフォルトでSTART/STOPキーを押してください。カウントを開始します。  
※カウント中は「▲」「:」が点滅します。
- ②カウント中にSTART/STOPキーを押すたびにカウント停止・再開をおこないます。

カウント停止中にRESETキーを押すとタイマーデフォルトに戻ります。

※カウント停止中は「▲」点灯、「:」点滅となります。

※カウントダウン設定をする場合は一度タイマーデフォルトに戻ってください。

※カウントは「99:59<sup>59</sup>」までおこなった後「00:00<sup>00</sup>」となりカウントを停止します。

## ●カウントダウン (▼)

①タイマーデフォルトでMAX/MINキー(▲)またはHOLDキー(▼)を押してください。タイマーが設定されます。キーを押し続けることにより早送りで加算(または減算)します。

※時桁は分析の設定により自動的に繰り上がり(下がり)ます。また、秒桁の設定はできません。自動的に00秒からカウントを開始します。

SK-250WP II -T



SK-250WP II -R



②START/STOPキーを押してください。カウントを開始します。START/STOPキーを押すたびにカウントの停止・再開を繰り返します。カウント停止中にRESETキーを押すとタイマーデフォルトに戻ります。

※カウント中は「:」「▼」点滅、カウント停止中は「:」点滅「▼」点灯となります。

※再度タイマーを設定するときには一度タイマーデフォルトに戻ってください。

- ③カウントダウンを終了すると時計表示部が点滅しブザーが作動します。(約30秒間)いずれかのキーを押すことで表示点滅とブザーが止まります。ブザーが終了するとカウントダウン設定表示に戻ります。

※温度上限下限警報が作動した場合、ブザーは警報ブザーに切りかわり、タイマー音は停止し、表示点滅のみとなります。

## 設定モード

各種機能の設定をおこなうモードです。設定方法は各機能の項目をご確認ください。

※設定モード中はMAX/MINは記憶しません。また温度上下限警報機能も作動しません。

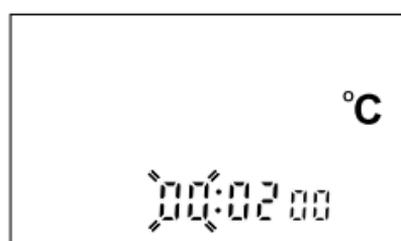
- ①測定モードでMODEキーを押してください。設定モードへ移行します。設定モード内ではMODEキーを押すたびに次の設定に進みます。
- ②設定モードはMODEキーを2秒以上押した時、または1分間キー入力がない場合に測定モードへ戻ります。

### ●モードの流れ



## 時計機能

- ①測定モードでMODEキーを1回押してください。時桁が点滅し、時刻設定状態となります。



- ②MAX/MINキー(▲)またはHOLDキー(▼)を押して時桁を設定してください。  
RESETキーを押すと変更前の数値に戻ります。MODEキーを押すと設定を変更しないで次の設定項目に移ります。
- ③SETキーを押してください。設定を確定して分桁が点滅となり分桁設定に移ります。
- ④MAX/MINキー(▲)またはHOLDキー(▼)を押して分桁を設定してください。  
RESETキーを押すと変更前の数値に戻ります。MODEキーを押すと分桁の設定を変更しないで次の設定項目に移ります。
- ⑤SETキーを押してください。設定を確定して秒桁が点滅となり秒桁設定に移ります。
- ⑥MAX/MINキーまたはHOLDキーを押すと00秒に戻ります。
- ⑦SETキーを押してください。時桁が点滅となり時桁設定に移ります。  
このとき再度②～⑦の操作をすることで設定を変更することができます。
- ⑧MODEキーを3回押してください。測定モードに戻ります。

## 温度上限下限警報機能

設定された警報温度値を超えたときにブザーが作動（ピー ピー）し、「警報ブザー」キャラクタが点灯します。

※設定モード以外の全ての状態で警報は作動します。

### ●温度上限警報

- ①測定モードでMODEキーを2回押してください。「Alarm Hi」が点滅します。

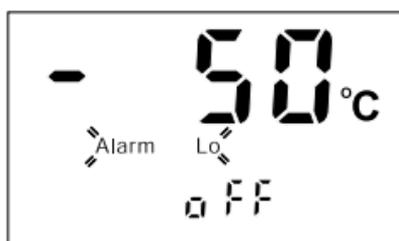


- ②START/STOPキーを押して on(設定)、または oFF(解除)を設定してください。「oFF」のときは温度値を設定することはできません。
- ③MAX/MINキー(▲)またはHOLDキー(▼)を押して温度値を設定してください。キーを押し続けると早送り設定します。RESETキーを押すと設定値が初期値へ戻ります。
- ④SETキーを押してください。「Alarm Hi」キャラクタが点灯に変わり設定が確定します。SETキーを押した後もSTART/STOPキー、MAX/MINキー、HOLDキー、RESETキーのいずれかのキーを押すことにより設定をやり直すことができます。
- ⑤MODEキーを2回押してください。測定モードに戻ります。SETキーを押していない時の設定の変更は無効となります。

※温度上限警報を設定している場合、測定モードで「Alarm Hi」が点灯します。

## ●温度下限警報

- ①測定モードでMODEキーを3回押してください。「Alarm Lo」が点滅します。



- ②START/STOPキーを押して on(設定)、または oFF(解除)を設定してください。「oFF」のときは温度値を設定することはできません。
- ③MAX/MINキー(▲)またはHOLDキー(▼)を押して温度値を設定してください。キーを押し続けると早送りで加(減)算します。RESETキーを押すと設定値が初期値へ戻ります。
- ④SETキーを押してください。「Alarm Lo」キャラクターが点灯に変わり設定が確定します。SETキーを押した後もSTART/STOPキー、MAX/MINキー、HOLDキー、RESETキーのいずれかのキーを押すことにより設定をやり直すことができます。
- ⑤MODEキーを1回押してください。測定モードに戻ります。SETキーを押していない時の設定の変更は無効となります。
- ※温度下限警報を設定している場合、測定モードで「Alarm Lo」が点灯します。

## ●警報設定の条件

設定の条件と操作例についてご説明します。

### ※設定の条件

- 上限設定は下限設定より優先されます。
- 上限設定値と下限設定値を逆転させた時は一方が「初期値」に戻ります。
- 一方が「oFF」のときは、もう一方は自由に設定することができます。

### ※警報作動の条件

- 計測温度値が設定値と等しいときおよび超えたとき作動します。

### ※設定例

- ① 上限警報が「on」の時  
下限設定値は上限設定値未満の範囲で設定ができます。
- ② 上限警報が「oFF」の時  
下限設定値は設定温度範囲内で自由に設定することができます。
- ③ 上限警報を「oFF → on」として「上限設定値 < 下限設定値」となった時  
下限警報値が「初期値」に戻ります。  
例) 下限警報「on200℃」のときに上限警報「oFF100.0℃」  
→ 「on100.0℃」にすると下限警報は初期値「oFF-50℃」となります。
- ④ 下限警報を「oFF → on」として「上限設定値 < 下限設定値」となった時  
下限警報の温度値が初期値「-50℃」となります。下限は上限温度値未満の範囲で設定ができます。
- ⑤ 上限設定値が「on-50℃(設定範囲の最下限)」の時  
下限警報を on に設定できません。

## オートパワーオフ機能

連続で60分間キー操作がない場合、自動的に電源を切るように設定することができます。電源の切り忘れによる電池の消耗を防ぎます。HOLDキーを押した状態で、POWER ON/OFFキーを押して電源を入れてください。表示部に「AUTO PWR OFF」キャラクタが点灯し、オートパワーオフ機能が設定されます。

※注意：オートパワーオフ機能を解除する場合は、再度上記の操作を行うか、一度乾電池を本器から取り外してください。

## レコード機能(SK-250WPⅡ-R)

### ●データ記憶

本器へ温度と時間を記憶します。最大で100データの記憶が可能で、表示部にデータを呼び出せます。パソコンなどの外部機器へデータを出力することはできません。

※測定モードでHOLD機能、MAX/MIN機能、タイマー機能を使用していないときに記憶することができます。

- ①測定モードでRECキーを押してください。本器へデータを記憶します。記憶するときにピッと音が鳴り「REC」キャラクタと記憶したデータ番号を表示します。RECキーを押し続けると、2秒間隔で記憶をおこないます。



※すでに100データ記憶されている時  
100データ記憶されている時のデータ番号は「DATANo00」と表示されます。  
このときRECキーを押してもデータを記憶することはできません。新たなデータを記憶するときはデータを消去してから記憶してください。

### ●データ呼び出し

- ①測定モードでDATAキーを押してください。記憶されたデータが表示されます。DATAキーを押すたびにデータNo. 1から順にデータを表示します。DATAキーを押し続けると連続してデータを表示します。データがない場合は「no」と表示されません。
- ②RESETキーを押してください。測定モードに戻ります。

### ●データクリア

電源OFFのときにRESETキーを押した状態でPOWER ON/OFFキーを押して電源を入れてください。記憶されていたデータを全て消去します。

## データの保持と消去

電池交換や電源ON/OFFをすることにより以前に設定した設定値およびデータがクリアされ初期値(デフォルト)に戻る場合があります。その場合は再び設定をおこなう必要があります。下表で「設定値の保持と消去」についてご確認ください。

設定(データ)の種類	設定値の保持と消去 (○:保持 x:消去)	
	電源OFF	電池交換
MAX/MIN	x	x
時刻	○	x
温度上限下限警報	○	x
オートパワーオフ	○	x
データ記憶	○	○

## 設定の初期値(デフォルト)

設定(データ)の種類	初期値(デフォルト)
MAX/MIN	記憶なし
時刻	「00:00 <sup>00</sup> 」
温度上限警報	「OFF 300℃」
温度下限警報	「OFF -50℃」
オートパワーオフ	「OFF」(解除)
レコード (データ記憶)	ご購入時、データを記憶していません。

## エラー表示

エラー表示は表示部の温度表示部に表示されます。

エラー表示	原因	対策
Hi	測定値が表示範囲の上限(305℃)を超えている。	センサの測定範囲内でご使用ください。
Lo	測定値が表示範囲の下限(-55℃)を超えている。	
Er	本体にセンサプローブが接続されていない。	センサプローブコネクタを接続してください。接続しても表示が変わらない場合は、本体電子部品の異常もしくはセンサ故障が考えられますので使用を中止してください。 お買いあげ店または弊社へご連絡ください。
Er1	センサ部または電源から何らかの異常な信号(ノイズ)の入力が考えられます。	乾電池を抜いて5秒間おいてから再度、乾電池を挿入してください。
Er2		
Er3		

※エラーが発生しますとMAXおよびMINの記憶値も上記のエラー状態が記憶されます。

MAX: Hi または Er

MIN: Lo または Er

## 仕 様

製 品 名	防水型デジタル温度計		
型 式	SK-250WP II-T		
製 品 番 号	No. 8063-00		
表 示 範 囲	-55~305℃ ※測定範囲はセンサプローブにより異なります。 ※詳しくはセンサプローブ「SWP II センサシリーズ」の取扱説明書をご参照ください。		
表 示 精 度	-9.9~199.9℃ ±(0.1℃ + 1 digit) その他 ±(1℃ + 1 digit) at25℃ ※総合精度は接続するセンサプローブにより異なります。 ※詳しくはセンサプローブ「SWP II センサシリーズ」の取扱説明書をご参照ください。		
表 示 分 解 能	0.1℃ (-9.9~199.9℃) 1℃ (上記以外)		
防 水 性	JIS C 0920 IPX6に準拠		
使 用 環 境	0~50℃		
表示サンプリング	約1秒		
セ ン サ	SWP II センサシリーズ(サーミスタ)		
表 示 機 能	HOLD、MAX、MIN、TIMER▲▼hms、 ブザー、Alarm Hi Lo、ローバッテリー マーク、オートパワーオフ、時計		
電 源	単4形アルカリ乾電池LR03(AAA) 2本(DC3V)		
電 池 寿 命	連続使用約1000時間(ブザー作動なし) 連続使用約350時間(ブザー作動時) (アルカリ乾電池使用時、常温にて)		
寸 法	約(W)71×(H)170×(D)36mm (突起を除く)		
材 質	ABS樹脂		
質 量	約145g (乾電池含む)		
付 属 品	ネックストラップ	1本	
	単4形アルカリ乾電池	2本	
	取扱説明書	1冊	
	本体ビニールカバー	1枚	

※注意：SWPセンサシリーズとの互換性はありません。  
 ※仕様および外観は改良のため予告なく変更することがあります。

製 品 名	防水型デジタル温度計		
型 式	SK-250WP II-R		
製 品 番 号	No. 8065-00		
表 示 範 囲	-55~305℃ ※測定範囲はセンサプローブにより異なります。 ※詳しくはセンサプローブ「SWP II センサシリーズ」の取扱説明書をご参照ください。		
表 示 精 度	-9.9~199.9℃ ±(0.1℃+1 digit) その他 ±(1℃+1 digit) at25℃ ※総合精度は接続するセンサプローブにより異なります。 ※詳しくはセンサプローブ「SWP II センサシリーズ」の取扱説明書をご参照ください。		
表 示 分 解 能	0.1℃ (-9.9~199.9℃) 1℃ (上記以外)		
防 水 性	JIS C 0920 IPX6に準拠		
使 用 環 境	0~50℃		
表示サンプリング	約1秒		
セ ン サ	SWP II センサシリーズ(サーミスタ)		
表 示 機 能	HOLD、MAX、MIN、TIMER▲▼hms、 ブザー、Alarm Hi Lo、DATA No.、 REC、ローバッテリーマーク、オート パワーオフ、時計		
電 源	単4形アルカリ乾電池LR03(AAA) 2本 (DC3V)		
電 池 寿 命	連続使用約1000時間(ブザー作動なし) 連続使用約350時間(ブザー作動時) (アルカリ乾電池使用時、常温にて)		
寸 法	約(W)71×(H)170×(D)36mm (突起を除く)		
材 質	ABS樹脂		
質 量	約145g (乾電池含む)		
付 属 品	ネックストラップ	1本	
	単4形アルカリ乾電池	2本	
	取扱説明書	1冊	
	本体ビニールカバー	1枚	

※注意：SWPセンサシリーズとの互換性はありません。  
 ※仕様および外観は改良のため予告なく変更することがあります。

## インターネットホームページ

弊社製品の最新情報は、インターネットホームページでご覧いただけます。

<http://www.sksato.co.jp>

## 保証規定

- 1) 取扱説明書の注意に従った正常な使用状態で故障した場合、お買いあげ後1年間、無償で修理または交換させていただきます。その他の責はご容赦願います。
- 2) 修理の必要が生じた場合は製品に本証を添えて、お買いあげ店または弊社にご持参またはご送付ください。
- 3) 保証期間内でも次の場合は有償修理となります。
  - イ. 誤用、乱用および取扱不注意による故障
  - ロ. 火災・地震・水害等の災害による故障
  - ハ. 不当な修理や改造および異常電圧に起因する故障
  - ニ. 使用中に生じた傷等の外観上の変化
  - ホ. 消耗品および付属品の交換
  - ヘ. 本証の提示がない場合および必要事項（お買いあげ日、販売店名等）の記入がない場合
- 4) 本証は日本国内でのみ有効です。また、本証は再発行致しません。

## 品質保証書

お願い 本保証書はアフターサービスの際必要となります。お手数でも※印箇所にご記入のうえ本器の最終御使用者のお手許に保管ください。

※当商品の保証書にご記入された、お客様の個人情報は、商品の修理・交換の商品発送などに使用し、それ以外に使用したり、第三者に提供する事は一切ございません。

製品名 防水型デジタル温度計 SK-250WP II-T/R

※お客様名

※ご住所

TEL

・以下につきましては、必ず販売店にて記入捺印してください。

お買上げ店名

㊞

ご住所

TEL

お買上げ年月日

年

月

日

**SK** 株式会社 **佐藤計量器製作所**

〒101-0045 東京都千代田区神田鍛冶町3丁目4番地

TEL 03-3254-8111(代) FAX 03-3254-8119



